

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 市民の暮らしを支える市職員がいきいきと働くために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

市役所職員というと、市民にとっては年金や戸籍、住民票などの手続きをしてくれる窓口の人というイメージがあります。しかし目に見える所だけでなく、実際は影で私たちの暮らしを支えている人がたくさん市役所にはいます。福祉、教育、産業振興、防災、観光施策や広報など、他にも総務、人事、経理などを担当する部署もあります。公務員の労働時間は 2009 年 4 月の人事院勧告に基づき 1 週間あたり 38 時間 45 分に改定されました。産休や育休、介護休暇など福利厚生が充実していて、仕事を続けていきやすい環境が整っています。

しかし、実際は部署によっては定時に帰れず、残業の多い部署もあり、人事異動など定期的に行われ業務内容は多岐にわたるため部署が替われば仕事を一から覚えなくてはなりません。分野を限定せず広範囲の知識や経験、技術などが求められる市職員が、働きやすく、やりがいをもってまちづくりを実感できるよう、以下の質問をします。

1. 市職員採用(事務職、技術職、専門職、障がい者枠)の際に、小平市の職員として望むことや重視している点はあるか。また、その内容を受験者に伝えているか。
2. ワークライフバランスの視点から、産前産後休暇、出産介護休暇、部分休業および育児時間、介護休暇について、2016 年度以降 3 か年の女性と男性の取得率、近年の傾向とこれからのについて伺います。
3. 市職員ひとり一人がやりがい、魅力、まちづくりの実感を得られるような職場づくりが大切です。講演会や研修などの参加状況、悩みや辛いことなどについての相談やストレスの解消に向けて、市としてどんなことを実施しているか。
4. 市職員には地域の課題の解決策を見出す発想力、増える仕事を効率よくこなす創意工夫など市役所を内側から変えていくような情熱と忍耐力、地域社会への貢献度など求められています。市として職員の意見や提案をどのように聴きとり生かしているのか、現状と今後について伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

平成 30 年 8 月 27 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 平野 ひろみ

受付番号【           】

26	25	24	23

-(        /        )